

造形美術教育フォーラム 2019 共催企画 実施報告

おてら meets フェスティバル ～アール・ブリュット展示会、ギャラリートーク～

開催期間： 「アール・ブリュット展示会」2019年10月4日（金）～10月6日（日）
「ギャラリートーク」2019年10月5日（土）13:15～14:15

会場： 長善寺、法源寺（愛知県名古屋市区西上小田井）

講師： 今泉 岳大（高浜市やきもの里かわら美術館 主任学芸員）、江原 亮
（障害者支援施設 藤花荘 職員）

主催： おてら meets フェスティバル実行委員会・Aichi Artbrut Network Center

共催企画者： 新實 広記（愛知東邦大学）江村 和彦（日本福祉大学）

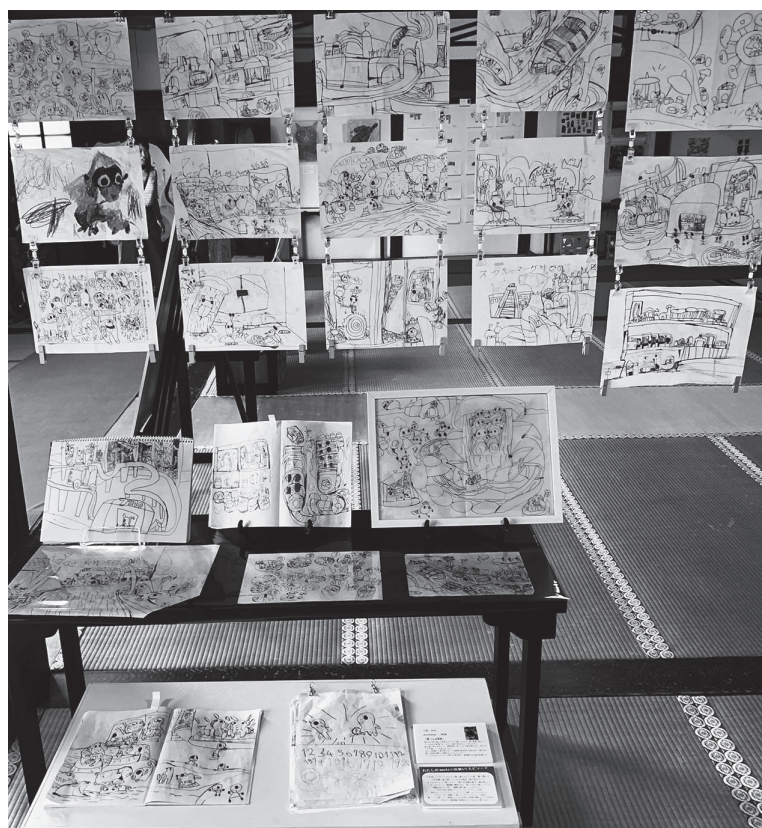
来場者数： 10月4日（金）47名、10月5日（土）272名（ギャラリートーク43名）、
10月6日（日）36名

<報告>

名古屋市西区の福祉事業所を中心に美術作品の出品依頼を行い、アール・ブリュット展示会、ギャラリートークをお寺で実施した。アール・ブリュット展示会では、6事業所から100点以上の作品を出品。作品の展示では、今後も事業所主体で持続して展示会が開催できるように、各事業所職員、作家家族が中心となり展示を行い、展示方法などを学芸員から助言をもらいながら行われた。身近で作家を知っている人が展示を行ったため、その生の魅力を発信できるような展示となった。

ギャラリートークでは、高浜市やきもの里かわら美術館主任学芸員の今泉岳大氏と障害者支援施設藤花荘職員の江原亮氏にアール・ブリュットにまつわる歴史や展示作品の背景、魅力をお話しいただいた。

お寺という地域に根付いたコミュニティーを掛け合わせることで、今まで関わったことのない方も障害者の美術芸術に触れる機会となり、普及啓発につながった。（新實 広記）



写真上：お寺でのギャラリートーク

写真左：展示会での展示

※次年度のフォーラムの企画申請をご希望の方は2020年5月までに事務局まで申し込みください。